

1 P1063 VS00

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

JC821 U.S. PTO
09/897237
07/02/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 7月 5日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-203500

出 願 人

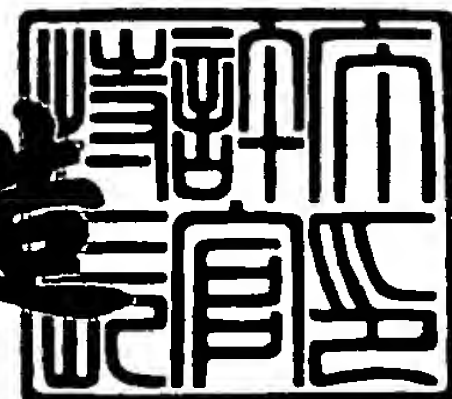
Applicant(s):

ソニー株式会社

2001年 5月11日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3039297

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000195403

【提出日】 平成12年 7月 5日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 H04N 5/335

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
 内

 【氏名】 宗中 美佳

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
 内

 【氏名】 明石 達也

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
 内

 【氏名】 栗原 潤一

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社
 内

 【氏名】 尾崎 淳子

【特許出願人】

 【識別番号】 000002185

 【氏名又は名称】 ソニー株式会社

 【代表者】 出井 伸之

【代理人】

 【識別番号】 100082762

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 杉浦 正知

特 2 0 0 0 - 2 0 3 5 0 0

【電話番号】 03-3980-0339

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 043812

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9708843

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンテンツ管理システム、コンテンツ管理装置およびコンテンツ管理方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンテンツ提供者から提供される複数のコンテンツのファイルが保存されているコンテンツライブラリおよび上記コンテンツライブラリを管理するライブラリ管理手段と、

ユーザ毎に領域が割り当てられ、上記割り当てられた領域毎に、ユーザ毎のコンテンツのファイルが保存される顧客ファイル蓄積手段と、

上記顧客ファイル蓄積手段を管理している顧客ファイル管理手段とからコンテンツ管理部を構成し、

上記コンテンツ管理部と上記ユーザの端末とをネットワークを介して接続し、

上記ユーザの端末により上記ネットワークを介して上記コンテンツ管理部を操作して、上記コンテンツ提供者によって公開されているページと上記ネットワークを介してリンクするように設定されている上記コンテンツを、上記コンテンツライブラリから上記領域へ複製し、上記領域のコンテンツのファイルを管理するようにしたことを特徴とするコンテンツ管理システム。

【請求項 2】 上記コンテンツは、広告としたことを特徴とする請求項 1 に記載のコンテンツ管理システム。

【請求項 3】 上記コンテンツ提供者は、上記コンテンツライブラリに供給した上記コンテンツのファイルを変更、差し替えおよび削除を任意に行うことができるようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載のコンテンツ管理システム。

【請求項 4】 上記コンテンツ管理部は、上記コンテンツを上記領域に複製したユーザの数を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載のコンテンツ管理システム。

【請求項 5】 上記コンテンツ管理部は、上記コンテンツを上記領域に複製したユーザの男女の数を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載のコンテンツ管理システム。

【請求項 6】 上記コンテンツ管理部は、上記コンテンツを上記領域に複製

したユーザの年代毎の数を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項1に記載のコンテンツ管理システム。

【請求項7】 上記コンテンツ管理部は、上記領域に複製された上記コンテンツがクリックされた数を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項1に記載のコンテンツ管理システム。

【請求項8】 上記コンテンツ管理部は、上記領域に複製された上記コンテンツがクリックされた日時を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項1に記載のコンテンツ管理システム。

【請求項9】 上記コンテンツ管理部は、上記コンテンツが保存されている期間を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項1に記載のコンテンツ管理システム。

【請求項10】 コンテンツ提供者から提供される複数のコンテンツのファイルが保存されているコンテンツライブラリおよび上記コンテンツライブラリを管理するライブラリ管理手段と、

ユーザ毎に領域が割り当てられ、上記割り当てられた領域毎に、ユーザ毎のコンテンツのファイルが保存される顧客ファイル蓄積手段と、

上記顧客ファイル蓄積手段を管理している顧客ファイル管理手段とからコンテンツ管理部を構成し、

ネットワークと接続可能とするための通信手段とからなり、

上記ユーザの端末により上記ネットワークを介して操作して、上記コンテンツ提供者によって公開されているページと上記ネットワークを介してリンクするように設定されている上記コンテンツを、上記コンテンツライブラリから上記領域へ複製し、上記領域のコンテンツのファイルを管理するようにしたことを特徴とするコンテンツ管理装置。

【請求項11】 上記コンテンツは、広告としたことを特徴とする請求項10に記載のコンテンツ管理装置。

【請求項12】 上記コンテンツ提供者は、上記コンテンツライブラリに供給した上記コンテンツのファイルを変更、差し替えおよび削除を任意に行うことができるようにしたことを特徴とする請求項10に記載のコンテンツ管理装置。

【請求項13】 上記コンテンツを上記領域に複製したユーザの数を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項10に記載のコンテンツ管理装置。

【請求項14】 上記コンテンツを上記領域に複製したユーザの男女の数を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項10に記載のコンテンツ管理装置。

【請求項15】 上記コンテンツを上記領域に複製したユーザの年代毎の数を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項10に記載のコンテンツ管理装置。

【請求項16】 上記領域に複製された上記コンテンツがクリックされた数を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項10に記載のコンテンツ管理装置。

【請求項17】 上記領域に複製された上記コンテンツがクリックされた日時を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項10に記載のコンテンツ管理装置。

【請求項18】 上記コンテンツが保存されている期間を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項10に記載のコンテンツ管理装置。

【請求項19】 コンテンツ提供者から提供される複数のコンテンツのファイルが保存するライブラリを設けると共に、ユーザ毎のコンテンツのファイルが保存できるユーザ領域を顧客ファイルストレージに割り当てるようにしたコンテンツ管理部を設け、

上記コンテンツ管理部と上記ユーザの端末とをネットワークを介して接続し、

上記ユーザの端末により上記ネットワークを介して上記コンテンツ管理部を操作して、上記コンテンツ提供者によって公開されているページと上記ネットワークを介してリンクするように設定されている上記コンテンツを、上記ライブラリから上記ユーザ領域へ複製し、上記ユーザ領域のコンテンツのファイルを管理するようにしたことを特徴とするコンテンツ管理方法。

【請求項20】 上記コンテンツは、広告としたことを特徴とする請求項1

9 に記載のコンテンツ管理方法。

【請求項 2 1】 上記コンテンツ提供者は、上記ライブラリに供給した上記コンテンツのファイルを変更、差し替えおよび削除を任意に行うことができるようにしたことを特徴とする請求項 1 9 に記載のコンテンツ管理方法。

【請求項 2 2】 上記コンテンツ管理部は、上記コンテンツを上記ユーザ領域に複製したユーザの数を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項 1 9 に記載のコンテンツ管理方法。

【請求項 2 3】 上記コンテンツ管理部は、上記コンテンツを上記ユーザ領域に複製したユーザの男女の数を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項 1 9 に記載のコンテンツ管理方法。

【請求項 2 4】 上記コンテンツ管理部は、上記コンテンツを上記ユーザ領域に複製したユーザの年代毎の数を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項 1 9 に記載のコンテンツ管理方法。

【請求項 2 5】 上記コンテンツ管理部は、上記ユーザ領域に複製された上記コンテンツがクリックされた数を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項 1 9 に記載のコンテンツ管理方法。

【請求項 2 6】 上記コンテンツ管理部は、上記ユーザ領域に複製された上記コンテンツがクリックされた日時を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項 1 9 に記載のコンテンツ管理方法。

【請求項 2 7】 上記コンテンツ管理部は、上記コンテンツが保存されている期間を計数し、データベースとするようにしたことを特徴とする請求項 1 9 に記載のコンテンツ管理方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

この発明は、ネットワークを介して閲覧可能なホームページに掲載される広告を効果的に提供できるようにしたコンテンツ管理システム、コンテンツ管理装置およびコンテンツ管理方法に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

現在、ネットワークに接続することによって、様々な企業や個人が作成したホームページを閲覧して楽しむことができる。そのため、アクセス数の多いホームページに広告を掲載することによって、広告効果を挙げ、さらに企業が自社のホームページとリンクできるようにされていることが一般的である。なお、ホームページに掲載される広告をバナー広告と称する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、アクセス数の多いホームページには、掲載される広告の量が多く、ユーザにとっては、そのホームページを閲覧するまでに、かなりの時間がかかる問題があった。

【0004】

また、広告主にとっては、雑誌よりも多く存在するホームページに対して、1つの出稿に対する広告の効果を上げることが難しい問題があった。さらに、大企業が1ユーザと契約し、そのユーザのホームページにバナー広告を掲載することは、契約条件などを考えると難しい問題があった。

【0005】

従って、この発明の目的は、予め設定されたユーザ専用の領域に、ユーザが好みの広告主のバナー広告を掲載することができるようにしたコンテンツ管理システム、コンテンツ管理装置およびコンテンツ管理方法を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】

請求項1の発明は、コンテンツ提供者から提供される複数のコンテンツのファイルが保存されているコンテンツライブラリおよびコンテンツライブラリを管理するライブラリ管理手段と、ユーザ毎に領域が割り当てられ、割り当てられた領域毎に、ユーザ毎のコンテンツのファイルが保存される顧客ファイル蓄積手段と、顧客ファイル蓄積手段を管理している顧客ファイル管理手段とからコンテンツ管理部を構成し、コンテンツ管理部とユーザの端末とをネットワークを介して接続し、ユーザの端末によりネットワークを介してコンテンツ管理部を操作して、

コンテンツ提供者によって公開されているページとネットワークを介してリンクするように設定されているコンテンツを、コンテンツライブラリから領域へ複製し、領域のコンテンツのファイルを管理するようにしたことを特徴とするコンテンツ管理システムである。

【 0 0 0 7 】

請求項 1 0 に記載の発明は、コンテンツ提供者から提供される複数のコンテンツのファイルが保存されているコンテンツライブラリおよびコンテンツライブラリを管理するライブラリ管理手段と、ユーザ毎に領域が割り当てられ、割り当てられた領域毎に、ユーザ毎のコンテンツのファイルが保存される顧客ファイル蓄積手段と、顧客ファイル蓄積手段を管理している顧客ファイル管理手段とからコンテンツ管理部を構成し、ネットワークと接続可能とするための通信手段とからなり、ユーザの端末によりネットワークを介して操作して、コンテンツ提供者によって公開されているページとネットワークを介してリンクするように設定されているコンテンツを、コンテンツライブラリから領域へ複製し、領域のコンテンツのファイルを管理するようにしたことを特徴とするコンテンツ管理装置である。

【 0 0 0 8 】

請求項 1 9 に記載の発明は、コンテンツ提供者から提供される複数のコンテンツのファイルが保存するライブラリを設けると共に、ユーザ毎のコンテンツのファイルが保存できるユーザ領域を顧客ファイルストレージに割り当てるようにしたコンテンツ管理部を設け、コンテンツ管理部とユーザの端末とをネットワークを介して接続し、ユーザの端末によりネットワークを介してコンテンツ管理部を操作して、コンテンツ提供者によって公開されているページとネットワークを介してリンクするように設定されているコンテンツを、ライブラリからユーザ領域へ複製し、ユーザ領域のコンテンツのファイルを管理するようにしたことを特徴とするコンテンツ管理方法である。

【 0 0 0 9 】

コンテンツ提供者（広告主）から供給される複数のコンテンツ（バナー広告）のファイルがコンテンツライブラリに保存される。コンテンツライブラリは、ラ

イブラリ管理手段（ライブラリ管理サーバ）によって管理されている。顧客ファイル蓄積手段（顧客ファイルストレージ）には、ユーザ毎にユーザ領域が割り当てられ、その割り当てられたユーザ領域にコンテンツのファイルが保存される。顧客ファイル蓄積手段は、顧客ファイル管理手段（顧客ファイル管理サーバ）によって管理される。これらからなるコンテンツ管理部（コンテンツ管理会社）を、ユーザ端末によってネットワークを介して操作して、コンテンツ提供者によって公開されるページとネットワークを介してリンクするように設定されているコンテンツを、コンテンツライブラリからユーザ領域へ複製することができる。このように、ユーザは、自分の好みのコンテンツのファイルを自分専用の領域に保存することができる。

【 0 0 1 0 】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の実施の形態について図面を参照して説明する。図 1 は、この発明が適用されたシステムの一例を示すものである。図 1 において、1 はコンテンツ管理会社である。コンテンツ管理会社 1 には、広告主端末 4 が設けているホームページとリンクしているバナー広告が供給される。コンテンツ管理会社 1 は、広告主から供給されるバナー広告をコンテンツとして総合的に管理している。そして、このコンテンツ管理会社 1 は、バナー広告の管理ばかりでなく、ユーザのバナー広告を保管するサービスや、それに付随するサービスを行っている。

【 0 0 1 1 】

コンテンツ管理会社 1 は、管理している多数のバナー広告が格納されているコンテンツライブラリ 1 1 と、このコンテンツライブラリ 1 1 を管理しているライブラリ管理サーバ 1 2 と、ユーザのバナー広告を保管するための顧客ファイルストレージ 1 3 と、この顧客ファイルストレージ 1 3 を管理している顧客ファイル管理サーバ 1 4 とを備えている。さらに、顧客との間でメッセージをやり取りするためのメール処理サーバ 1 7 を備えている。

【 0 0 1 2 】

これらのサーバ 1 2、1 4、1 7 は、ネットワークにより接続されており、互いにデータのやり取りが可能とされている。また、これらのサーバ 1 2、1 4、

17は、ルータなどの通信インターフェース19を介して、ネットワーク3と接続可能とされている。ネットワーク3は、例えば、インターネットである。

【0013】

なお、これらのサーバ12、14、17は、それぞれ、専用のコンピュータ上で実現しても良いし、また、同一のコンピュータ上で実現しても良い。また、コンテンツライブラリ11や顧客ファイルストレージ13は、サーバのストレージデバイス上に実現しても良いし、専用のコンピュータを用意しても良い。また、ここでは、これらのサーバ12、14、17や、コンテンツライブラリ11、顧客ファイルストレージ13は、同一のコンテンツ管理会社1内に設けられているが、これらを別々の会社で運営することも可能である。

【0014】

ユーザ端末2は、ユーザが操作する端末で、パーソナルコンピュータで実現できる。このユーザ端末2は通信機能を有しており、ネットワーク3に接続可能とされている。ユーザ端末2のネットワーク3への接続は、電話回線を利用しても良いし、CATV (Cable Television) のネットワークサービスや携帯電話のネットワークサービスなどを利用しても良い。勿論、専用回線、地上波、衛星波の何れを用いても良い。

【0015】

コンテンツライブラリ11は、管理する多数のコンテンツデータが格納できるように、大容量のストレージデバイスを有している。コンテンツライブラリ11に保存されているコンテンツのファイルは、図2に示すように、広告主名と、ファイル名と、登録日と、容量と、ジャンルと、コンテンツの内容とで管理されている。

【0016】

広告主名は、コンテンツのファイルを登録した企業、団体、個人からなる広告主の名称である。ファイル名とは、各コンテンツのファイルが識別できるように付けられた各ファイル固有の名称であり、その広告の内容がある程度理解できる名称とする。登録日は、コンテンツのファイルがコンテンツライブラリ11に登録される、或いは登録された日付である。容量は、各コンテンツデータのファイ

ルの大きさであり、通常、バイト数で規定されるが、それ以外にも、例えば、動画ファイルであれば、再生に必要な時間など、各ファイル形式に特有なパラメータを表すことも可能である。ジャンルは、各コンテンツのファイルの内容を予め設定したカテゴリに振り分けた場合に、どのカテゴリに属するかを明示した情報である。コンテンツの内容は、各コンテンツが表している内容を示すものである。

【 0 0 1 7 】

この図 2 に示すコンテンツは、広告主によって、任意で変更、差し替えまたは削除することができる。ただし、広告主がコンテンツを削除する場合、事前にその旨をコンテンツ管理会社 1 へ連絡する。

【 0 0 1 8 】

ライブラリ管理サーバ 1 2 は、コンテンツライブラリ 1 1 の管理を行っている。ライブラリ管理サーバ 1 2 は、ネットワーク上の他の機器からコンテンツの要求が与えられると、コンテンツライブラリ 1 1 から指定されたコンテンツのファイルを検索し、そのコンテンツのファイルを他の機器に転送できるようになっている。また、ライブラリ管理サーバ 1 2 は検索機能を備えており、キーワードが与えられると、このキーワードに合致するコンテンツのファイルをコンテンツライブラリ 1 1 から検索して、検索結果を出力できるようになっている。要求されたコンテンツの広告主名と、ファイル名と、登録日と、容量と、ジャンルと、コンテンツの内容など、個々の項目についての検索結果を出力することも可能である。

【 0 0 1 9 】

そして、ライブラリ管理サーバ 1 2 は、新規に供給されるコンテンツのファイルが来ると、このコンテンツのファイルをコンテンツライブラリ 1 1 に登録する処理を行っている。

【 0 0 2 0 】

顧客ファイルストレージ 1 3 は、契約を行ったユーザがコンテンツの保存に利用できるユーザ領域 1 8 を提供するものである。この顧客ファイルストレージ 1 3 は、各ユーザ毎に記録容量が確保されている。各ユーザは、ユーザ ID で管理

されており、各ユーザ毎に、契約により総容量が決められている。この契約により決められた総容量に応じて、各ユーザの記録容量確保エリアが設定され、これがユーザ領域 1 8 となる。この顧客ファイルストレージ 1 3 のユーザ領域 1 8 は、契約されている期間、契約されて容量の範囲内で、コンテンツを保存する領域として、ユーザが自由に使うことができる。すなわち、このユーザ領域 1 8 に、新たなコンテンツのファイルを保存させたり、コンテンツのファイルを移動させたり、削除することができる。また、ユーザが既に保有しているコンテンツのファイルをユーザ領域 1 8 に保管することもできる。

【 0 0 2 1 】

なお、コンテンツ管理会社 1 は、各ユーザと契約を行う際に、ユーザ領域 1 8 の大きさに応じて、課金を行うようにする。勿論、ユーザ領域 1 8 の大きさは、後に変更可能である。

【 0 0 2 2 】

ユーザは、コンテンツライブラリ 1 1 で保存されているコンテンツのファイルを選択することができる。このようにして選択されたコンテンツのファイルは、この顧客ファイルストレージ 1 3 の各ユーザ領域 1 8 に保存しておくことができる。また、ユーザは、自分自身で作成したコンテンツのファイルを、顧客ファイルストレージ 1 3 の各ユーザ領域 1 8 に保存しておくことができる。

【 0 0 2 3 】

顧客ファイル管理サーバ 1 4 は、図 3 に示すように、顧客ファイルストレージ 1 3 に各ユーザ領域 1 8 に保存されているコンテンツのファイルを、各ユーザ毎にデータベースで管理している。この顧客ファイル管理サーバ 1 4 は、ファイルの検索、転送および削除などの処理が行える。なお、顧客ファイル管理サーバ 1 4 は、他のユーザがアクセスできないようになっている。

【 0 0 2 4 】

図 3 に示すように、ユーザが選択しているコンテンツのファイルは、登録広告と、掲載期間と、クリック回数とが管理されている。また、顧客ファイル管理サーバ 1 4 は、契約変更によるユーザ領域 1 8 の拡大や縮小の処理、契約期間の管理などを行っている。このとき、アクセスされた回数は、図 4 に示すように、ア

クセスされた時間毎にデータベースが作成される。

【 0 0 2 5 】

ユーザがコンテンツを選択する場合には、ユーザ端末 2 からネットワーク 3 を介して顧客ファイル管理サーバ 1 4 にコンテンツの選択コマンドが送られ、この選択コマンドに基づいて、顧客ファイル管理サーバ 1 4 に各ユーザ毎にデータベースが作成される。

【 0 0 2 6 】

そして、そのコンテンツのファイルを、ライブラリ管理サーバ 1 2 からユーザ領域 1 8 に複製するためのコマンドが与えられる。ライブラリ管理サーバ 1 2 は、コンテンツライブラリ 1 1 から所望のコンテンツのファイルを検索し、そのファイルが検索されたら、そのファイルをコンテンツライブラリ 1 1 から取り出して、顧客ファイル管理サーバ 1 4 に送る。そして、顧客ファイル管理サーバ 1 4 は、このファイルを、顧客ファイルストレージ 1 3 のユーザ領域 1 8 に複製する。

【 0 0 2 7 】

このように、コンテンツの選択は、コンテンツライブラリ 1 1 から顧客ファイルストレージ 1 3 のユーザ領域 1 8 へのファイルの複製という処理で実現できる。

【 0 0 2 8 】

ユーザは、自分に割り当てられているユーザ領域 1 8 については、ユーザ端末 2 を使ってアクセスすることができる。ユーザが選択したコンテンツのファイルは、上述したように、そのユーザのユーザ領域 1 8 に保存されている。

【 0 0 2 9 】

このように、このシステムでは、契約を行った各ユーザに、コンテンツを保存しておくためのユーザ領域 1 8 が割り当てられる。このユーザ領域 1 8 を使って、コンテンツを選択すること、その他、種々のサービスを受けることができる。

【 0 0 3 0 】

コンテンツライブラリ 1 1 に保存されているコンテンツのファイルを選択すると、割り当てられたユーザ領域 1 8 に保存される。ユーザ領域 1 8 に保存された

コンテンツのファイルは、ユーザがいつでも楽しむことができる。

【 0 0 3 1 】

また、顧客ファイル管理サーバ 1 4 では、図 5 に示すように、広告主毎に掲載ユーザ数と、総掲載日数と、総クリック数と、掲載しているユーザの男性および女性別の人数と、掲載しているユーザの年代別の人数とのデータベースが作成される。この図 5 に示すデータベースによって、掲載ユーザ数と、総クリック数とが分かるので、広告主とコンテンツ管理会社 1 とは、掲載単位またはクリック単位で換算する契約とすることもできる。そして、アクセスされた回数は、図 6 に示すように、アクセスされた時間毎にデータベースが作成される。

【 0 0 3 2 】

次に、このコンテンツ管理会社 1 で提供しているサービスについて、具体的に説明する。

【 0 0 3 3 】

ユーザ端末 2 は、ネットワーク 3 に接続できる通信機能を有していると共に、ウェブページを閲覧できるブラウザがインストールされている。ユーザは、コンテンツ管理会社 1 が提供しているサービスを利用する場合には、コンテンツ管理会社 1 と契約を結ぶ。契約が締結されると、コンテンツ管理会社 1 からユーザにユーザ I D とパスワードが知らされる。

【 0 0 3 4 】

コンテンツ管理会社 1 と契約を結んでいるユーザは、このコンテンツ管理会社 1 のサービスを受ける場合には、ユーザ端末 2 をネットワーク 3 に接続し、ブラウザを立ち上げ、コンテンツ管理会社 1 の U R L (Uniform Resource Locator) にアクセスする。コンテンツ管理会社 1 の U R L にアクセスすると、図 7 に示す認証ページが送られてくる。

【 0 0 3 5 】

この認証ページには、ユーザ I D の記入ボックス 5 1 およびパスワードの記入ボックス 5 2 が設けられる。ユーザは、契約時にコンテンツ管理会社 1 から送られてきたユーザ I D とパスワードをユーザ端末 2 から入力し、ログインボタン 5 3 をクリックする。

【 0 0 3 6 】

ユーザ I D とパスワードを入力して、ログインボタン 5 3 をクリックすると、正規に契約したユーザかどうかの認証処理が行われ、認証の結果、正規に契約したユーザであると認められると、図 8 に示すユーザホームページが送られてくる。

【 0 0 3 7 】

このユーザホームページは、コンテンツ管理会社 1 のサービスを受けるための各ユーザ毎の専用ホームページである。このユーザホームページには、サービスの一例として、A D 変換ボタン 6 1 と、V I D E O ボタン 6 2 と、A U D I O ボタン 6 3 と、P H O T O ボタン 6 4 と、その他ボタン 6 5 と、一覧ボタン 6 6 と、ライブラリボタン 6 7 と、一括アップロード・ダウンロードボタン 6 8 と、アップロードボタン 6 9 と、ダウンロードボタン 7 0 との表示がなされる。さらに、ユーザ端末 2 の内部を表示できる表示部 7 1 と、ユーザのユーザ領域 1 8 の使用状況を確認するための表示部 7 2 との表示がなされる。この表示部 7 1 は、左側にツリービューが表示され、右側にファイルが表示される。

【 0 0 3 8 】

また、ユーザホームページの左側には、ユーザが選択してバナー広告を掲載することができるバナー広告部 2 0 1 が設けられている。このバナー広告部 2 0 1 には、バナーライブラリページからユーザが選択したバナー広告が掲載されている。この図 8 中では、A メーカーのバナー広告 2 0 2 と、D レコードのバナー広告 2 0 3 と、G オークションのバナー広告 2 0 4 などが掲載されている。

【 0 0 3 9 】

A D 変換ボタン 6 1 がクリックされると、A D 変換ページが表示され、V I D E O ボタン 6 2 がクリックされると、V I D E O ページが表示され、A U D I O ボタン 6 3 がクリックされると、A U D I O ページが表示され、P H O T O ボタン 6 4 がクリックされると、P H O T O ページが表示される。また、その他ボタン 6 5 がクリックされると、コンピュータ用のアプリケーションソフトウェアや、ゲームなどから構成される、その他ページが表示され、一覧ボタン 6 6 がクリックされると、V I D E O ページと、A U D I O ページと、P H O T O ページと

、その他ページとが一覧で表示され、ライブラリボタン 6 7 がクリックされると、コンテンツライブラリページが表示される。さらに、一括アップロード・ダウンロードボタン 6 8 がクリックされると、一括アップロード・ダウンロードページが表示され、アップロードボタン 6 9 がクリックされると、アップロードページが表示され、ダウンロードボタン 7 0 がクリックされると、ダウンロードページが表示される。

【 0 0 4 0 】

バナー広告 2 0 2 がクリックされると、バナー広告 2 0 2 に設定されている A メーカーのホームページが表示され、バナー広告 2 0 3 がクリックされると、バナー広告 2 0 3 に設定されている D レコードのホームページが表示され、バナー広告 2 0 4 がクリックされると、バナー広告 2 0 4 に設定されている G オークションのホームページが表示される。

【 0 0 4 1 】

ユーザ端末 2 から図 8 に示すユーザホームページ上のライブラリボタン 6 7 がクリックされると、コンテンツライブラリの要求コマンドがネットワーク 3 を介して、コンテンツ管理会社 1 に送られる。コンテンツライブラリの要求コマンドを受け取ったコンテンツ管理会社 1 から、ネットワーク 3 を介して図示しないがコンテンツライブラリページがユーザ端末 2 へ送られてくる。コンテンツライブラリページに表示されているバナーライブラリボタンがクリックされる。図 9 に示すバナーライブラリページが表示される。

【 0 0 4 2 】

2 1 1 で示すように、バナー広告は複数の分類に分けられたフォルダに含まれており、この図 9 に示すバナーライブラリページの一例では、4 つのフォルダが表示されている。それぞれのフォルダには、フォルダの名前が表示されているタブが設けられている。この図 9 の一例には、家電フォルダ 2 1 2、食品フォルダ 2 1 3、大型店舗フォルダ 2 1 4 および音楽フォルダ 2 1 5 が表示されている。

【 0 0 4 3 】

図 9 で選択されている家電フォルダ 2 1 2 を参照して説明する。家電フォルダ 2 1 2 には、複数の広告主から供給された複数のバナー広告 2 1 6 が表示されて

いる。選択されているフォルダ内のバナー広告をドラッグして、バナー広告部 2 0 1 内へドロップすることによって、バナー広告部 2 0 1 へバナー広告を複写することができる。なお、バナー広告部 2 0 1 に表示されているバナー広告は、このバナー広告部 2 0 1 から変更、差し替えおよび削除することができる。

【 0 0 4 4 】

コンテンツ管理会社 1 は、ユーザが選択したバナー広告を知ることができ、さらに、バナー広告をクリックしたユーザ、クリックした時刻およびクリックされた回数を、上述した図 3、図 4、図 5 および図 6 に示すようにデータベースとして作成することができる。

【 0 0 4 5 】

この実施形態では、コンテンツライブラリページを介してバナーライブラリページへ移行するようにしているが、ユーザホームページ上からバナーライブラリページへ移行するようにしても良い。具体的には、ユーザホームページにバナーライブラリボタンが表示され、表示されているバナーライブラリボタンをクリックされると、バナーライブラリページが表示されるようにしても良い。

【 0 0 4 6 】

この実施形態では、コンテンツ管理会社 1 が広告主端末 4 からバナー広告を得る方法として、ネットワーク 3 を介してバナー広告を得るようにしても良いし、専用回線を介してバナー広告を得るようにしても良い。また、コンテンツ管理会社 1 は、地上波、衛星波などを利用してバナー広告を、広告主端末 4 から得るようにしても良い。

【 0 0 4 7 】

この実施形態では、アクセスされた回数がアクセスされた時間毎にデータベースが作成されるようにしているが、さらにアクセスされた日毎にデータベースが作成されるようにしても良い。さらにまた、アクセスされた月毎にデータベースが作成されるようにしても良い。

【 0 0 4 8 】

【発明の効果】

この発明に依れば、コンテンツ管理会社が広告主と契約し、ユーザ専用につけ

られたユーザ領域に広告を提供することで、ユーザは、頻繁に利用するホームページを自分のユーザ領域にバナー広告として掲載することができる。そして、随時そのバナー広告から最新の情報を得ることができる。また、ユーザは、コンテンツ管理会社 1 から知らされているユーザ ID およびパスワードを入力することによって、自分の端末以外からでも、自分のユーザ領域にアクセスすることができる。

【 0 0 4 9 】

さらに、この発明に依れば、広告主は、ユーザ領域の契約者という身元が確実なユーザに、バナー広告の掲載を契約することができる。また、広告主は、非公開のエリアとなるユーザ領域にバナー広告を掲載するため、転用、悪用されることがない。コンテンツ管理会社と広告主との契約方法がクリック単位、掲載単位で換算することができるため、広告効果も明確に分かる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明が適用されたコンテンツ管理システムの全体構成を示すブロック図である。

【図 2】

この発明が適用されたコンテンツ管理システムの説明に用いる略線図である。

【図 3】

この発明が適用されたコンテンツ管理システムの説明に用いる略線図である。

【図 4】

この発明が適用されたコンテンツ管理システムの説明に用いる略線図である。

【図 5】

この発明が適用されたコンテンツ管理システムの説明に用いる略線図である。

【図 6】

この発明が適用されたコンテンツ管理システムの説明に用いる略線図である。

【図 7】

この発明が適用されたコンテンツ管理システムにおけるページの説明に用いる略線図である。

【図 8】

この発明が適用されたコンテンツ管理システムにおけるページの説明に用いる略線図である。

【図 9】

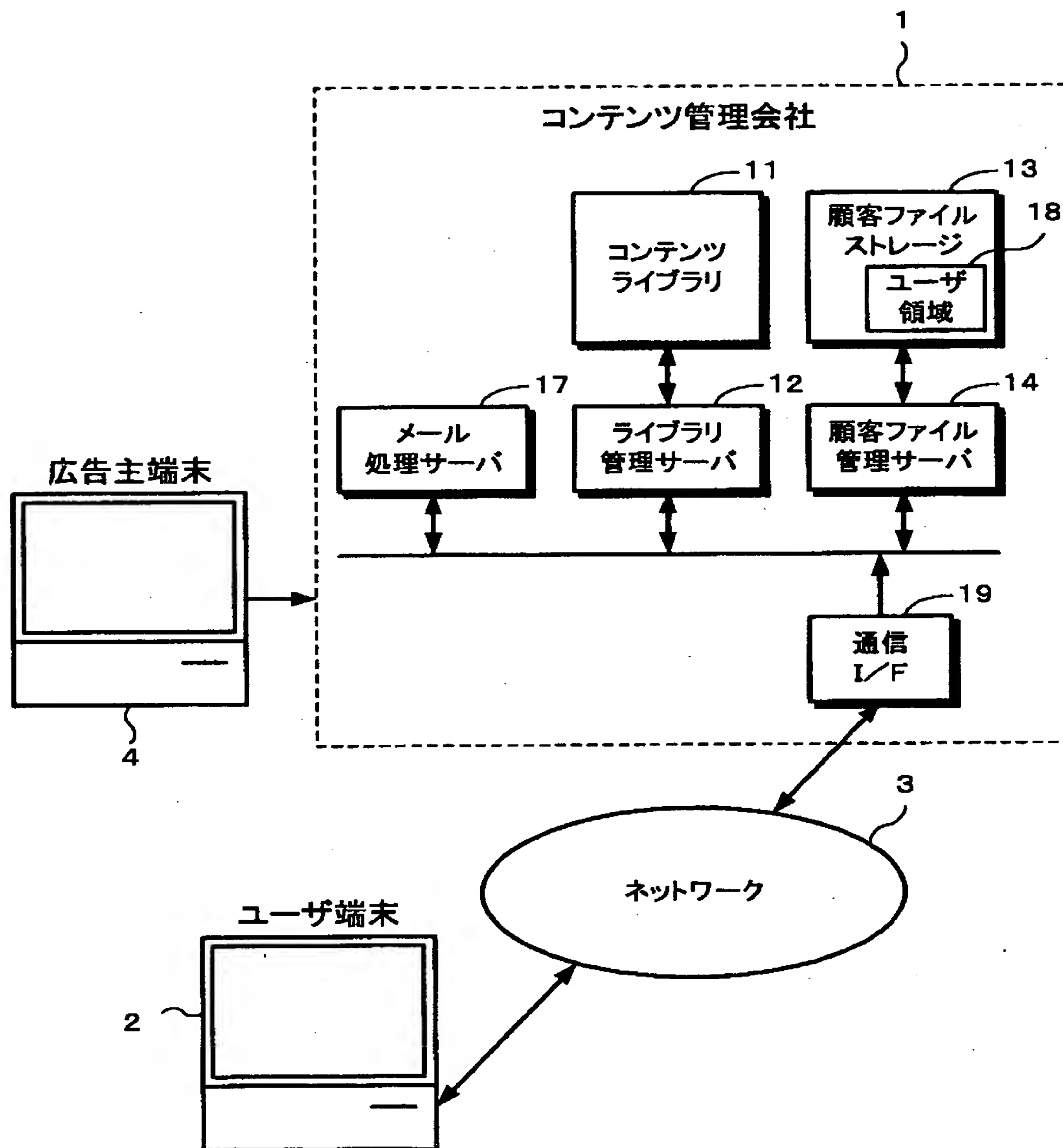
この発明が適用されたコンテンツ管理システムにおけるページの説明に用いる略線図である。

【符号の説明】

1 . . . コンテンツ管理会社、 2 . . . ユーザ端末、 3 . . . ネットワーク、
4 . . . 広告主端末、 1 1 . . . コンテンツライブラリ、 1 2 . . . ライブラリ
管理サーバ、 1 3 . . . 顧客ファイルストレージ、 1 4 . . . 顧客ファイル管理
サーバ、 1 7 . . . メール処理サーバ、 1 8 . . . ユーザ領域、 1 9 . . . 通信
インターフェース

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

広告主	ファイル名	登録日	容量	ジャンル	コンテンツの内容
Aメーカ	記録再生媒体	2000/02/25	50	家電	新製品のカラーメディア登場
B乳業	Y2K牛乳	2000/02/26	60	食品	2000年のキャンペーン告知
Cスーパー	売り出し	2000/03/01	50	大型店舗	毎週火曜日の大売り出し
Dレコード	αプロジェクト	2000/03/01	60	音楽	αプロジェクト、Newアルバム発売

【図 3】

登録広告	掲載期間	クリック数
E保険	2000/02/26 — 2000/03/15	10回
F航空	2000/02/01 — 2000/02/29	5回
Gオークション	2000/02/05 — 2000/02/20	30回

【図 4】

登録広告	01-02	02-03	03-04	04-05	05-06	06-07	07-08	08-09
E保険	1							
F航空								
Gオークション	11							
	09-10	10-11	11-12	12-13	13-14	14-15	15-16	16-17
			1	2				1
		1						
	1		5	8				
	17-18	18-19	19-20	20-21	21-22	22-23	23-24	24-01
					1	2	2	
				1		1	2	
								5

【図 5】

登録広告	掲載ユーザ数	総掲載日数	総クリック数	男性	女性	10代	20代	30代	40代
Hメーカ	300名	3250日	1200	252	148				
Jスーパー	250名	4800日	2000	50	200				
Kオークション	200名	2000日	500	40	160				

【図 6】

登録広告	01-02	02-03	03-04	04-05	05-06	06-07	07-08	08-09
Hメーカ	1							
Jスーパ-								
Kオークション	11							
	09-10	10-11	11-12	12-13	13-14	14-15	15-16	16-17
	1		2	3				2
		1						
	1		5	8				
	17-18	18-19	19-20	20-21	21-22	22-23	23-24	24-01
					1	2	3	
				1		1	2	

【図 7】

My Web Pocket

ユーザID

0011

51

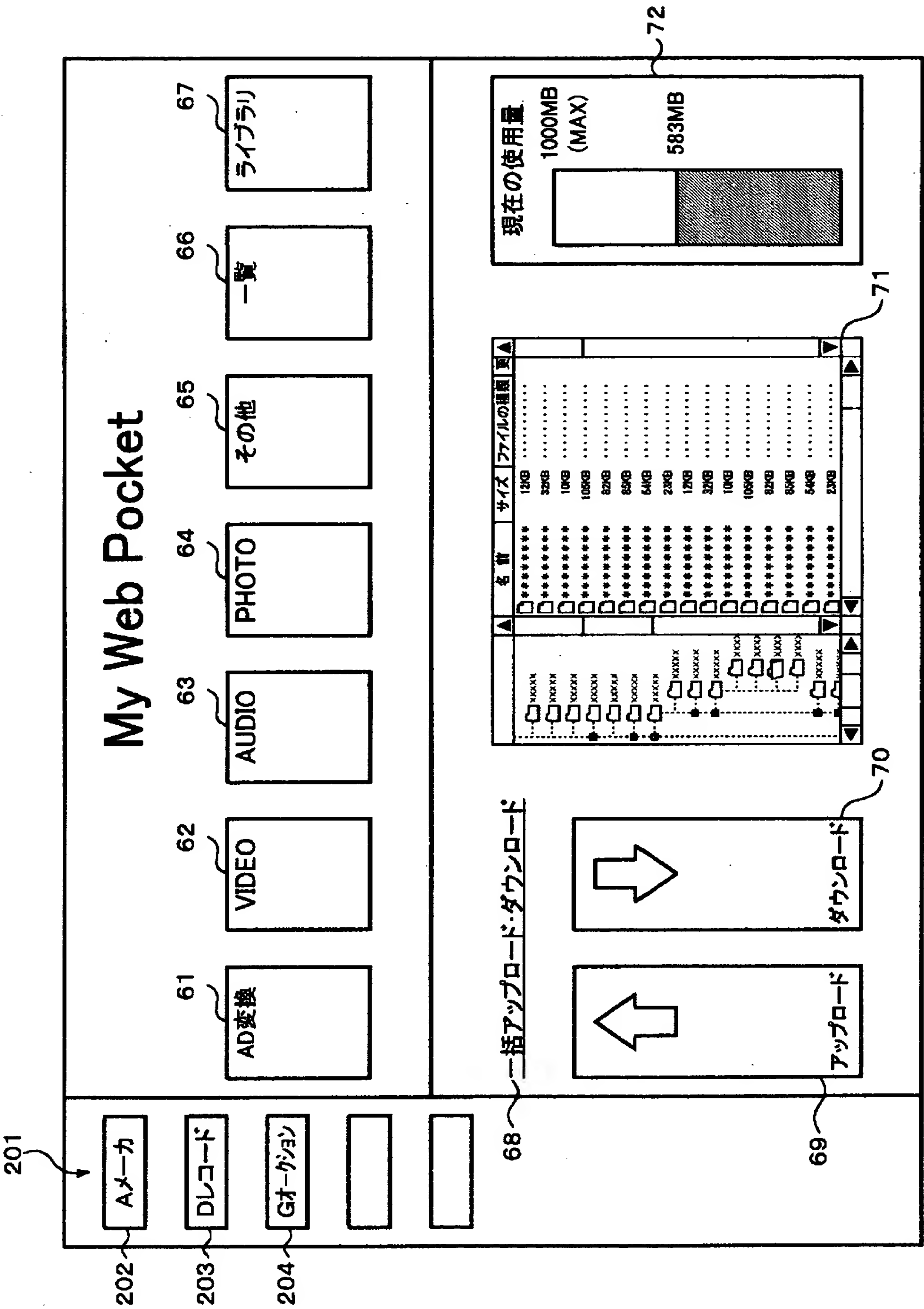
パスワード

52

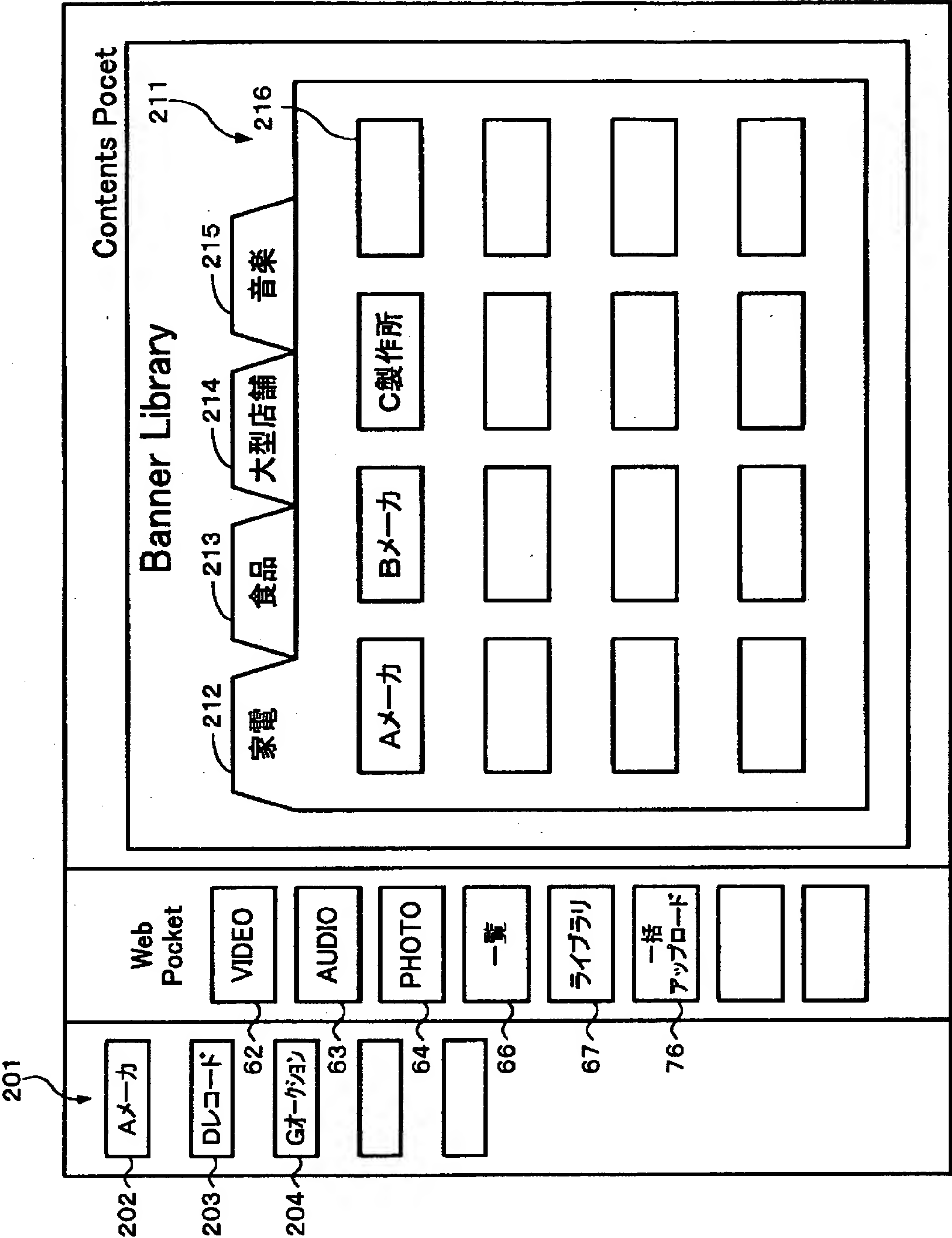
ログイン

53

【図 8】



【図 9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 予め設定されたユーザ専用の領域に、ユーザが好みの広告主のバナー広告を掲載する。

【解決手段】 コンテンツ管理会社 1 には、広告主端末 4 が設けているホームページとリンクしているバナー広告が広告主から供給される。コンテンツ管理会社 1 は、バナー広告の管理ばかりでなく、ユーザのバナー広告を保管するサービスや、それに付随するサービスを行っている。コンテンツ管理会社 1 は、管理している多数のバナー広告が格納されているコンテンツライブラリ 1 1 と、このコンテンツライブラリ 1 1 を管理しているライブラリ管理サーバ 1 2 と、ユーザのバナー広告を保管するための顧客ファイルストレージ 1 3 と、この顧客ファイルストレージ 1 3 を管理している顧客ファイル管理サーバ 1 4 とを備えている。さらに、顧客との間でメッセージをやり取りするためのメール処理サーバ 1 7 を備えている。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 2 1 8 5]

1. 変更年月日 1 9 9 0 年 8 月 3 0 日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号
氏 名 ソニー株式会社